

千里グリーンヒルズ竹見台(先工区)

目次	千里グリーンヒルズ竹見台101号棟	千里グリーンヒルズ竹見台201号棟
	1. 計画概要 02	1. 計画概要 34
	2. 全体計画 04	2. 全体計画 36
	1 建物配置計画 06	1 建物配置計画 36
	2 屋外計画 08	2 屋外計画 38
	3 照明計画 10	3 照明計画 40
	4 色彩計画 12	4 色彩計画 42
	5 サイン計画 13	5 サイン計画 43
	3. 住棟計画 14	3. 住棟計画 44
	1 住棟空間計画 16	1 住棟空間計画 44
	2 廊下・階段・中庭 18	2 エントランス 46
		3 集会所・付属棟 48
	4. 住戸計画 20	4. 住戸計画 50
	1 1DK 22	1 1LDK 50
	2 1LDK 23	2 2LDK 51
	3 2LDK 24	
	4 2LDK 25	
	5. 事業概要 26	5. 事業概要 52
	1 住戸概要 26	1 住戸概要 52
	2 住戸プラン 28	2 住戸プラン 54
	3 公募プラン需要概要 30	3 公募プラン需要概要 56
	4 アンケート結果 32	4 アンケート結果 58
		5 スタッフリスト 60

計画概要

全体計画コンセプト

住棟と競い合うようにおおらかに育った緑が空の高さを感じさせ、起伏に富み、移り変わる季節を楽しめる街路には、団地内外の人が集う。地域のランドマークである高層スターハウスを代表とした個性豊かな住棟群は、空間に彩りを与える。人・緑・街が育ってきた千里竹見台団地には、大事にしたいものがたくさんある。育った緑と共存し、長く親しまれてきた景観を継承するため、建物の位置と形をほとんど変えない置換え設計の手法で新棟に建替えし、団地全体がより豊かになることをめざす。

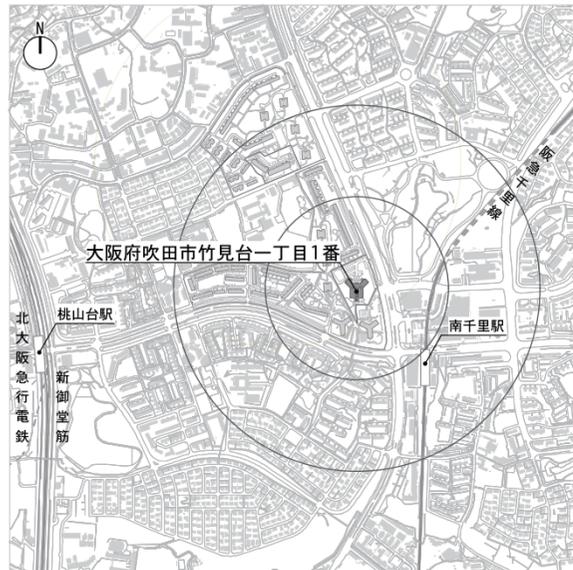
※コンセプトは基本設計時のものである

サステナブルな竹見台再生のコンセプト

Keywords ▶ 置換え設計・新旧混在・ランドマーク・個性的な・緑に囲まれた・共存・継承

- ① よいものはそのまま ② 古くなったものに手を加える ③ 古くなったものをとり代える ④ 足りないものを新しく足す

付近見取図



配置図



団地全体配置図



計画のポイント

- ① 部分を磨いて全体を輝かせる**
住棟だけを見直すのではなく、サインや照明・ランドスケープ・色彩計画等、団地全域を見据えたトータルデザインを行い、団地全体を再生する。
- ② 既存の建物や屋外環境への影響を少なくする**
置換え設計により将来にわたりクオリティ・オブ・リビングを創造し続ける仕組みを導入する
団地内に点在する建替対象住棟は、団地の骨格をなす住棟でもあり、建物位置はあえて変えない置換え設計とし、樹木や景観を守る。
- ③ 地域のランドマークを現代版に更新する**
ランドマーク的存在のスターハウス、ダイナミックな囲み空間を構成する高層板状住棟それぞれの住棟イメージを継承しつつ、現代のニーズにあった居住環境をもつ新しい時代の住棟設計を行う。
- ④ 新旧がなじみつつ、シンプルかつ個性的な住まいと環境を提供する**
継続住棟と新棟が自然になじむようにデザイン要素や色彩などの共通項を用い、今日の時代にあった素材やデザインの採用等、シンプルで新しさもあるファサードデザインを行う。
- ⑤ コミュニティや緑を受け継ぎ、共に育つ団地をめざす**
50年かけて培われた人と人とのつながり、大きく育った緑を次の時代にもつなげるよう、守り育てる計画をめざす。

事業概要

名称	千里グリーンヒルズ竹見台 101号棟
所在地	大阪府吹田市竹見台1丁目1番101
交通	阪急千里線「南千里」駅下車徒歩5分、北大阪急行「桃山台」駅下車徒歩12分
地域・地区	第1種中高層住居専用地域(200/60)、31m第3種高度地区 千里ニュータウン地区地区計画区域、宅地造成工事規制区域
建物種別	UR賃貸住宅(263戸、1DK~3LDK)
敷地面積	11,913.30㎡(区域全体:106,782.97㎡)
建築面積	1,891.64㎡(建ぺい率15.88%)
延床面積	15,976.80㎡(容積対象面積13,249.77㎡)(容積率111.22%)
構造・階数	鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)・14階建(1棟)
建物最高高	42.094m
駐輪台数	370台(設置率140%)
駐車台数	68台(設置率25%)
附属棟	電気室・ごみ置場2棟・駐輪場4棟
事業手法	建替型
事業経緯	1967年7月~1971年2月 日本住宅公団 千里竹見台団地(全42棟、2,796戸)入居開始 2017年5月 先工区建替のため解体工事着手 2021年1月 入居開始

全体計画

UR65年の歴史から生まれたニューモデル。
千里グリーンヒルズ竹見台101号棟。



全体計画 1. 建物配置計画

※コンセプトは基本設計時のものである

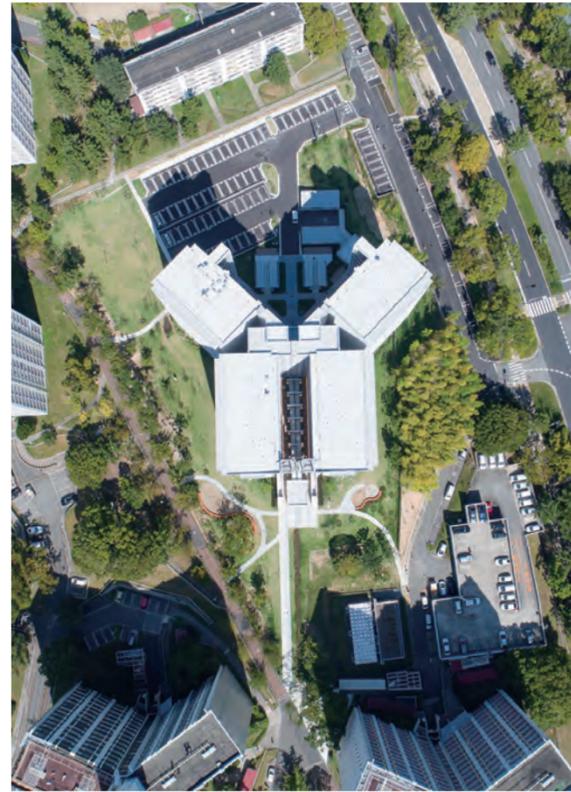
配置計画コンセプト

竹見台南端の「初代スターハウス」3棟でつくっていた空間の個性を、住棟形態の異なる建替後の「新竹見台3住棟」がY型住棟と同様に空間の個性を継承する。

コンセプト実現に向けた各部位の方針

- ① 住棟の配置
旧C26号棟の位置に新Y型ツインコリドール住棟を計画する。
- ② プレイロット
敷地周辺の芝生の広場に自由に配置する。
- ③ 南のアプローチ
正南北軸線上に配置された住棟に南正面から登る。
- ④ 南のエントランス
南正面中央にひだまり広場的なエントランスをつくる。
- ⑤ 北のアプローチ
正南北軸線上の北から南に向かって勝手口を設ける。
- ⑥ 北のエントランス
郵便物、自転車と共に、物の出し入れやごみ出しを担う。
- ⑦ 自転車置場
南北軸線を中心に機能とデザインを考えた幾何学配置を行う。
- ⑧ ごみ置き場
ごみ出し、収集に適した場所に軸線を合わせ配置する。
- ⑨ 電気室
メンテナンスしやすい場所に軸線を合わせ配置する。
- ⑩ 駐車場
住棟北側に配置する。

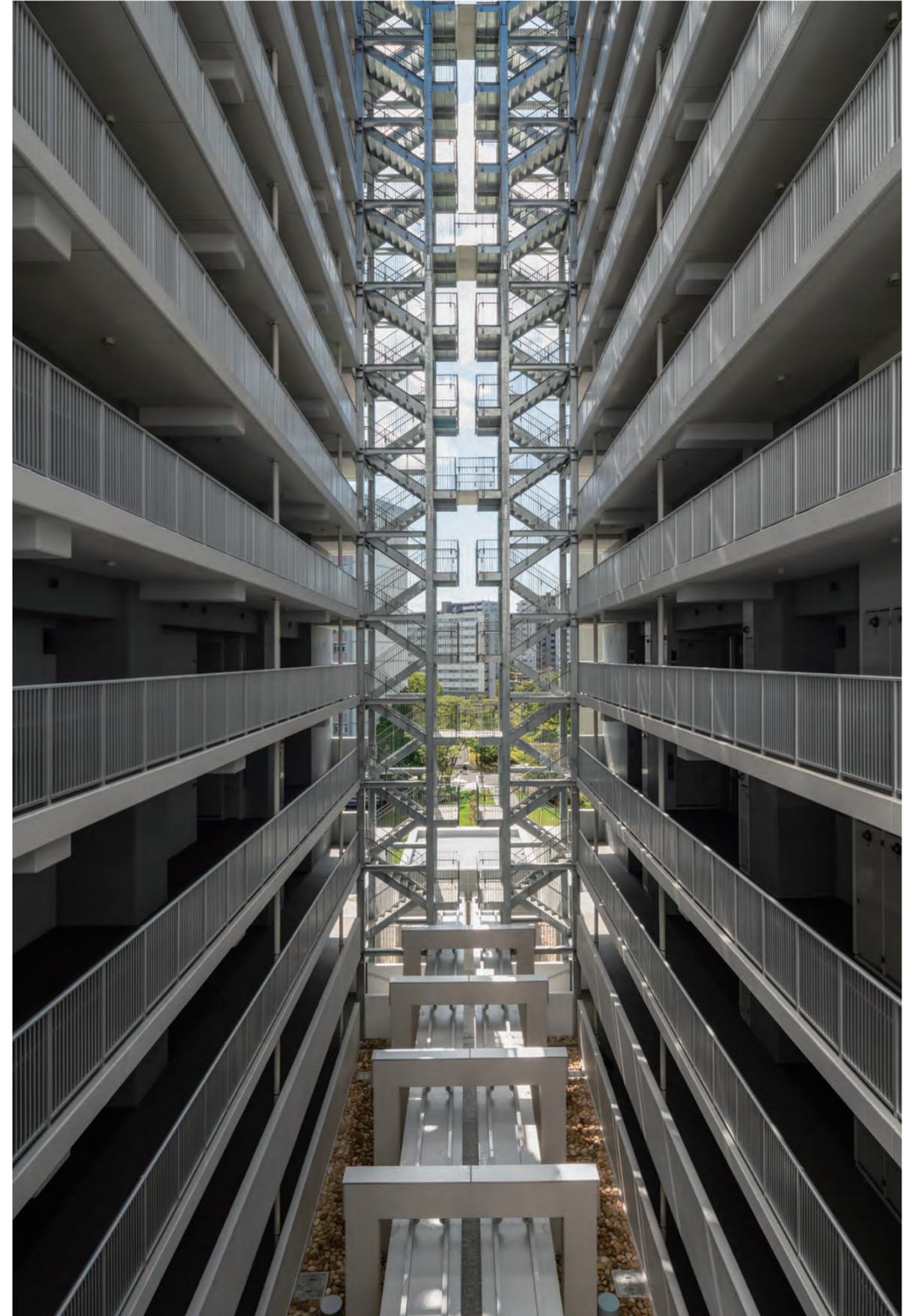
建物配置鳥瞰写真



正南北軸の軸線上に配置された北側サブエントランス



正南北軸の軸線上に配置されたメインエントランス



全体計画 2. 屋外計画

※コンセプトは基本設計時のものである

大理石と鉄骨と光と影で坪庭をつくる



基本計画コンセプト

暮らしを彩り包み込む緑の継承と創造

千里竹見台団地の大きく育った樹木やそれらが生み出す空間や環境は、団地の資産であり、地域の資産でもある。また、団地建設当初に植えられた桜並木やケヤキなどのシンボリックな樹木、住民自らが植育した花木など、さまざまな想いや記憶が積み重ねられた緑である。

本計画では、千里竹見台団地の緑の価値や魅力を多角的に捉え、それらを継承しながら、周辺地域の景観や団地に住まう人々のライフスタイルと融合させるための工夫を施し、誰もが日々の暮らしの中で団地の緑の価値を実感できる、より質の高い緑空間の創造をめざす。



基本設計コンセプト

貴重な資産である既存樹木およびその樹冠空間をいかした新たな魅力の創出

- ・地域との接点部の緑の保全・育成（彩りの導入）。
- ・骨格を形成する軸線上の緑の充実。
- ・団地のコミュニティ空間の再魅力化。
- ・住棟周辺の身近な彩りの創出。

南側メインエントランスにアクセスするフットパス鳥瞰



建物の直線とランドスケープの曲線が空間の核



全体計画 3. 照明計画

※コンセプトは基本設計時のものである

多様な表情をもつ「竹見台」ならではの夜間景観
—竹見台らしさの追求—

- 千里の象徴としての竹見台の顔をつくる。
- 多様な建築の集積ならではのエリア性の強調。
- 時を経た樹木の魅力を最大化。

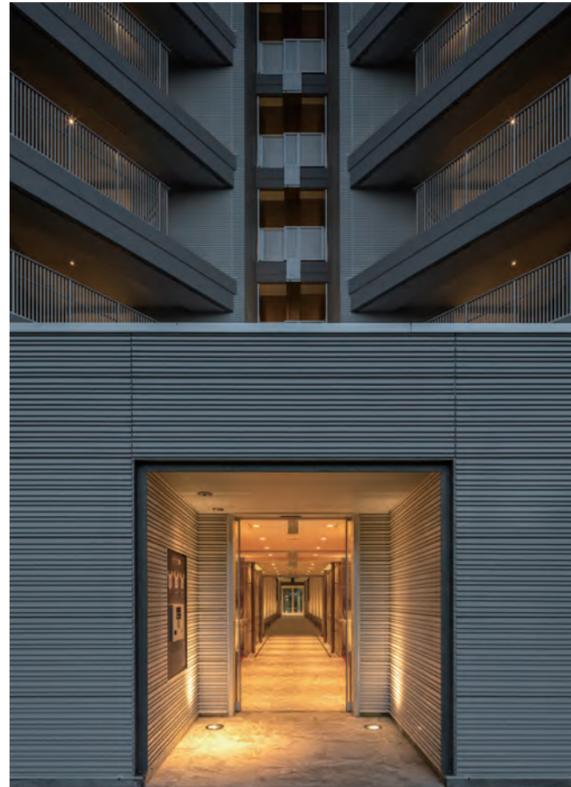
落ち着いた上質なあかりで、明るさと住まう喜び・楽しさを創出
—愛され続けるプレイスとして—

- いつもの道の安心安全の確保。
- 上質な千里の丘の住宅らしいたたずまい。
- 多彩な活動を誘うあかり。

竹林は団地の過去の経験を語っている



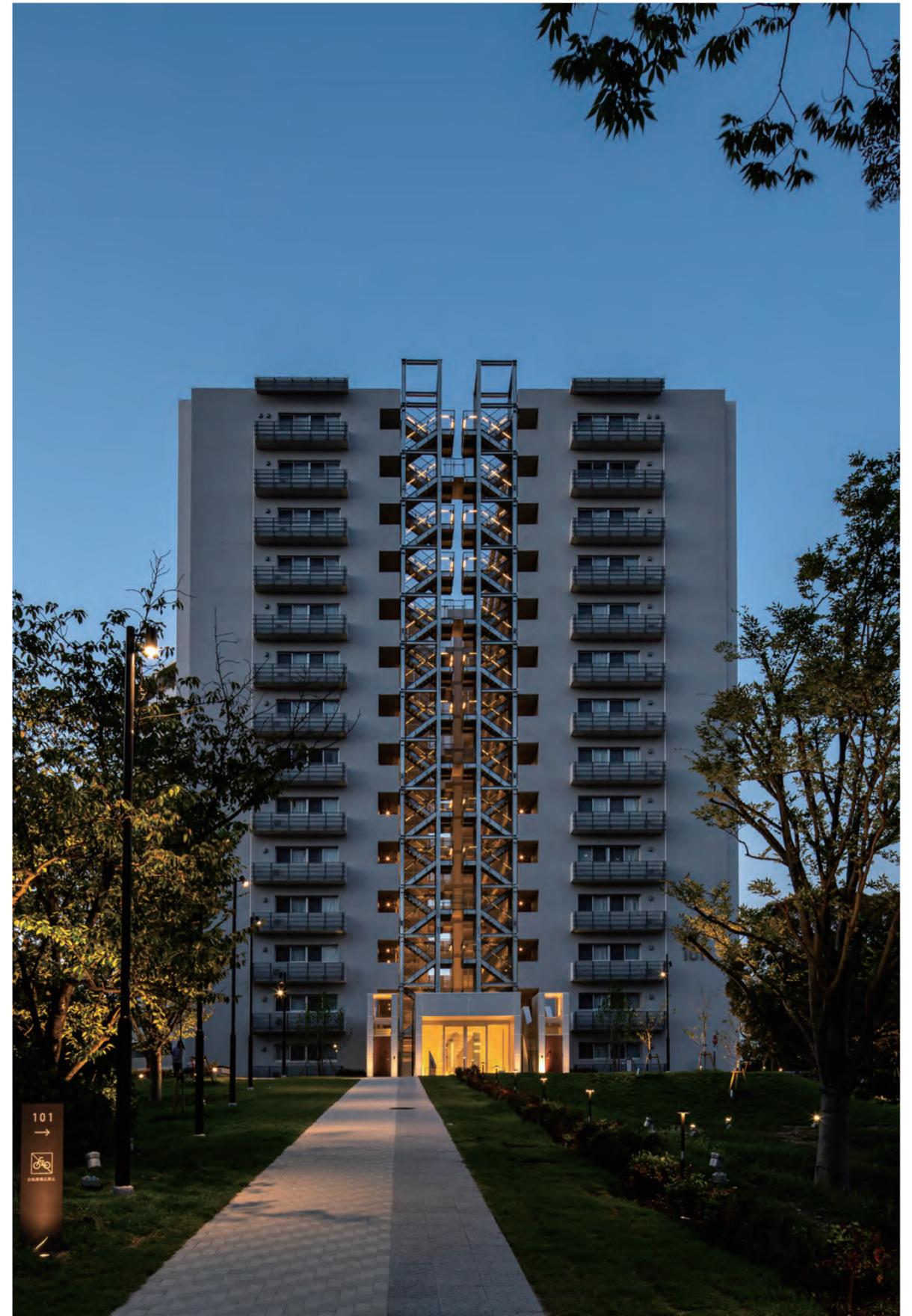
優しい光がサブエントランスだけを際立たせ、強い場所性をつくる



左右対称のエレベーターの存在を、光がより鮮やかな空間に再構成している



マス、直線の光、斜線の光等、光の点・面・線で建築空間の価値を頂きまで高めている



全体計画 4. 色彩計画

※コンセプトは基本設計時のものである

色彩計画コンセプト

(1) 外部空間計画コンセプト

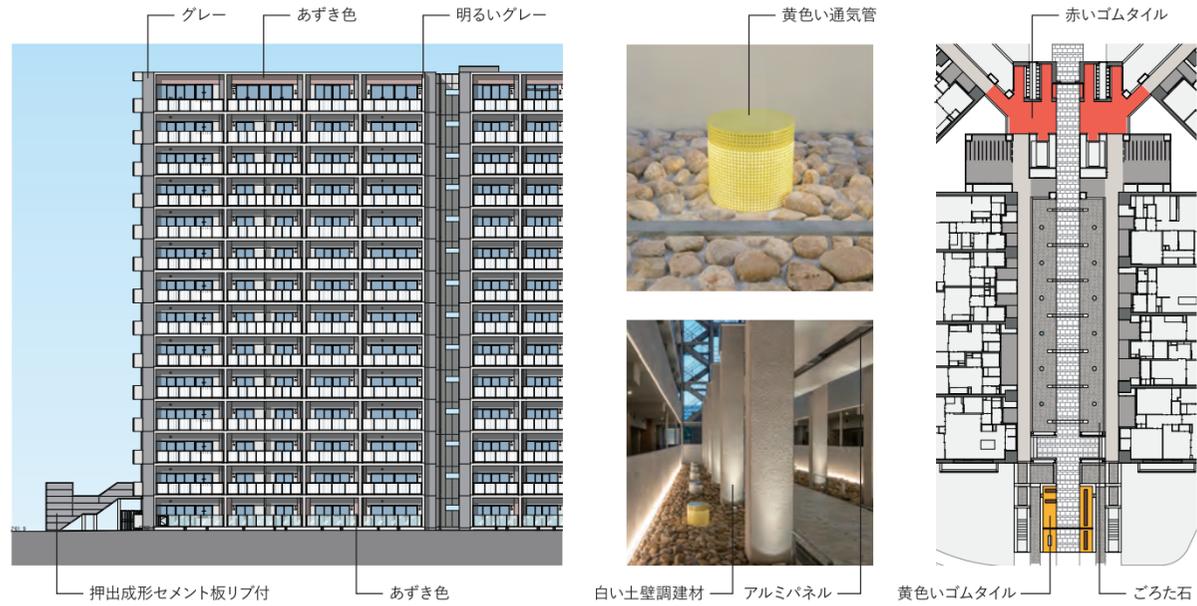
- ・竹見台団地の周辺住棟との調和をめざす。
- ・101号棟の独自性を表す。

(2) 共用空間計画コンセプト

- ・床、壁、天井、通気管等、各々の場所や機能の特性を表現する。
- ・空間に活力が生まれる計画をめざす。

(3) 住戸空間の計画コンセプト

- ・時代の精神を表す。
- ・建築は主張を抑え、生活者の個性が表れる空間をつくる。



床の色彩も色空間計画エレメント



全体計画 5. サイン計画

※コンセプトは基本設計時のものである

SENRI GREEN HILLS TAKEMIDAI 101
千里グリーンヒルズ 竹見台

デザインアプローチ

公団時代からの歴史や価値の継承をめざし、千里NTのUR団地に共通で使われている住棟番号の「C」を意識したデザインを検討し、建替後の各団地で統一したロゴデザインとして展開する。

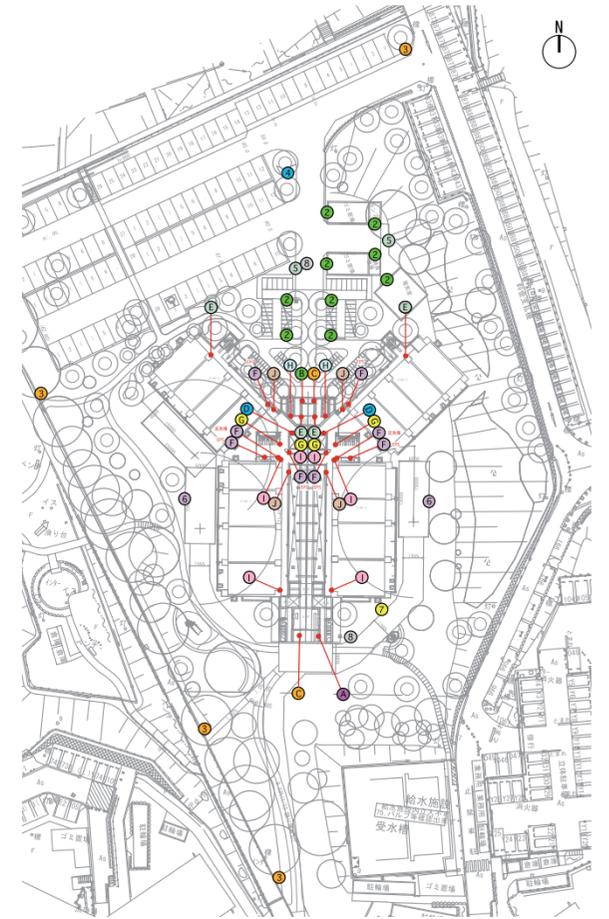
デザイン案

- ・既存住棟番号の「C」の形をイメージしたシンプルなフレームデザインを各団地共通で採用。
- ・フレーム内は、各団地でオリジナルロゴ（マーク、書体等）を検討し、団地ごとの個性を表現。

使用フォント（特記なき場合）
 団地名：指定フォント
 棟番号、英文：Alte DIN Regular
 和文：ヒラギノ角ゴシック W3/W5/W6



1234567890
 ABCDEFGHIJKLM
 NOPQRSTUVWXYZ
 a b c d e f g h i j k l m
 n o p q r s t u v w x y z



- 屋外サイン凡例
- ① 団地総合案内板
 - ② 施設案内板
 - ③ 誘導表示
 - ④ 駐車場サイン
 - ⑤ 駐車禁止
 - ⑥ 消防活動空地
 - ⑦ 防火水槽
 - ⑧ 逆水口
- 共用サイン凡例
- ⑨ エントランスサイン(シート)
 - ⑩ エントランスサイン(切文字)
 - ⑪ 住戸案内板
 - ⑫ EV給合板
 - ⑬ 階数サイン
 - ⑭ 一般室名札(シート)
- 一般室名札(切文字)
- ⑮ 注意事項サイン
 - ⑯ 種内誘導サイン
 - ⑰ 手摺注意サイン
 - ⑱ 住棟番号サイン(3階壁)
 - ⑲ 避難誘導サイン

サインが空間に力を与えている



住棟計画

創り手が想いを重ねた空間を、
住まい手は瞬時にそれを批評する。

住棟計画 1. 住棟空間計画

※コンセプトは基本設計時のものである

住棟計画コンセプト

スターハウスの形態を継承し、ツインコリドールが居住者のアイデンティティの拠り所になり、板状4棟の構成が空間を多様にする等、それぞれのよさをいかした住棟をつくり、居住者が豊かで快適な生活を享受できる建築空間をつくる。

コンセプト実現に向けた各部位の設計指針

- ① エントランス
南北共、自然空間から人工空間にいたる明るく現代的な結界をつくる。
- ② コロネード
南北軸上の長い直線空間を列柱で分節し秩序をつくる。
- ③ 1階中庭
玉石の自然物と列柱の人工物2つの要素で空間をつくる。
- ④ 1階エレベーターホール
6本の動線の集合する空間に秩序をつくる。
- ⑤ 2階以上のエレベーターホール
人と自転車がゆとりを持って交われる空間をつくる。
- ⑥ 住棟内自転車置き場
上階廊下等に無秩序に放置される自転車を無くす。
- ⑦ 廊下
四周の風景を価値化する廊下をつくる。
- ⑧ 階段
南正面階段は昼は外と内をゆるやかに閉じ、夜は光のスクリーンにする。
- ⑨ 中間階中庭
都市的で異化された空間をつくる。
- ⑩ 住戸エントランス
住戸前にアルコーブをつくり、生活の表出空間にする。

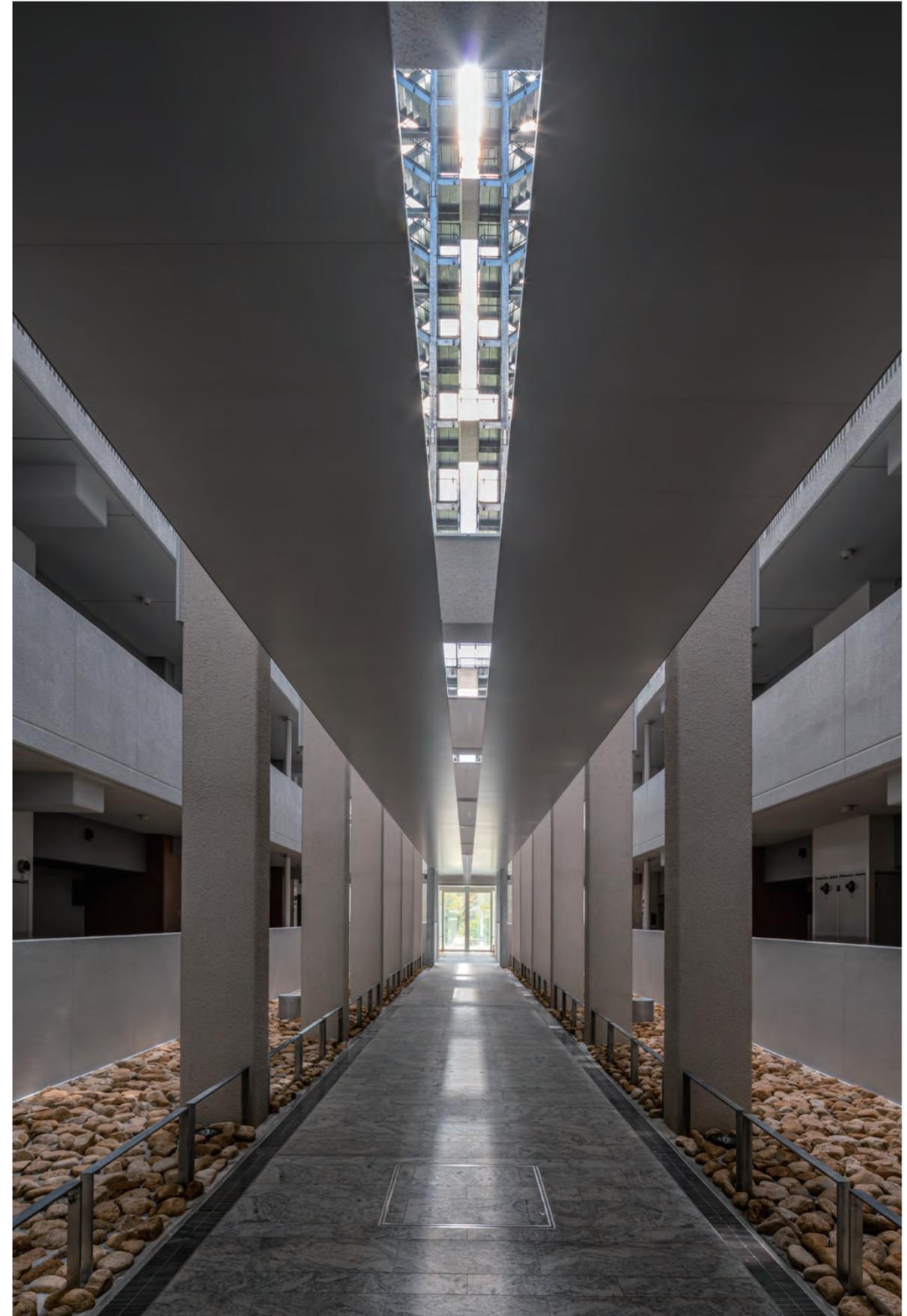
スターハウスとツインコリドールから生まれた形



エントランス空間の計画から住棟デザインは始まる



大理石の道に6分割された白い光の帯が描かれた時、この空間が竹見台南の街の主役になる



住棟計画 2. 廊下・階段・中庭

※コンセプトは基本設計時のものである

計画コンセプト

居住者が日常生活の中で四季の変化や朝夕の時間の移ろいを楽しめる空間をつくる。

- ① エントランス
南は堂々とした正面玄関、北は機能的な勝手口。
- ② 中庭
正午には白い大理石の床に鋭い光が線を描き、雨の日は床に水が流れる道がある。
- ③ 階段（南）
スチールのオブジェとしての階段を通して四季の自然と光の変化を楽しめる。
- ④ 廊下
配置された場所の違いが各廊下の個性をつくる。

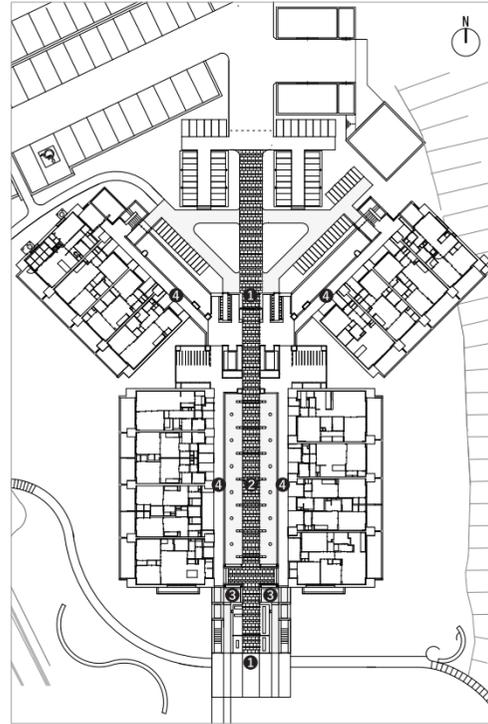
6本の道がこの空間に集まってくる



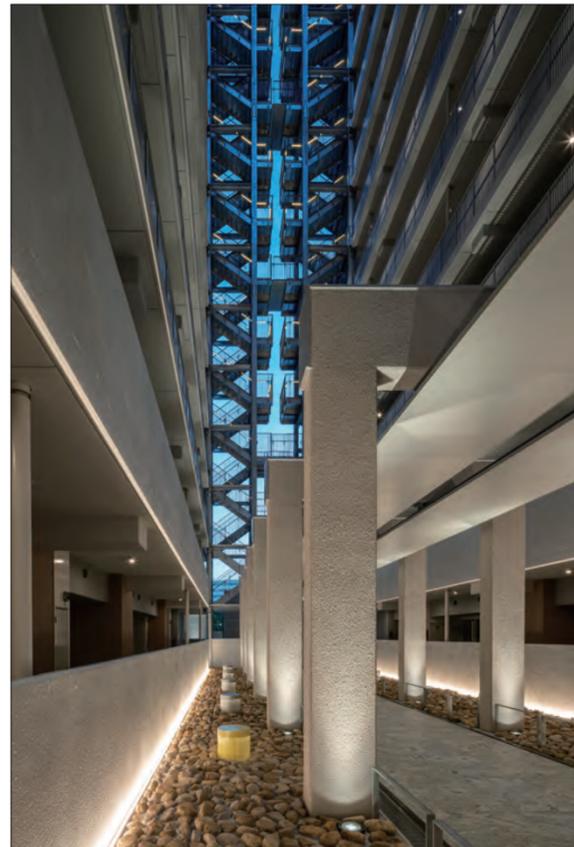
囲みながら開かれた都市空間の魅力のひとつとして



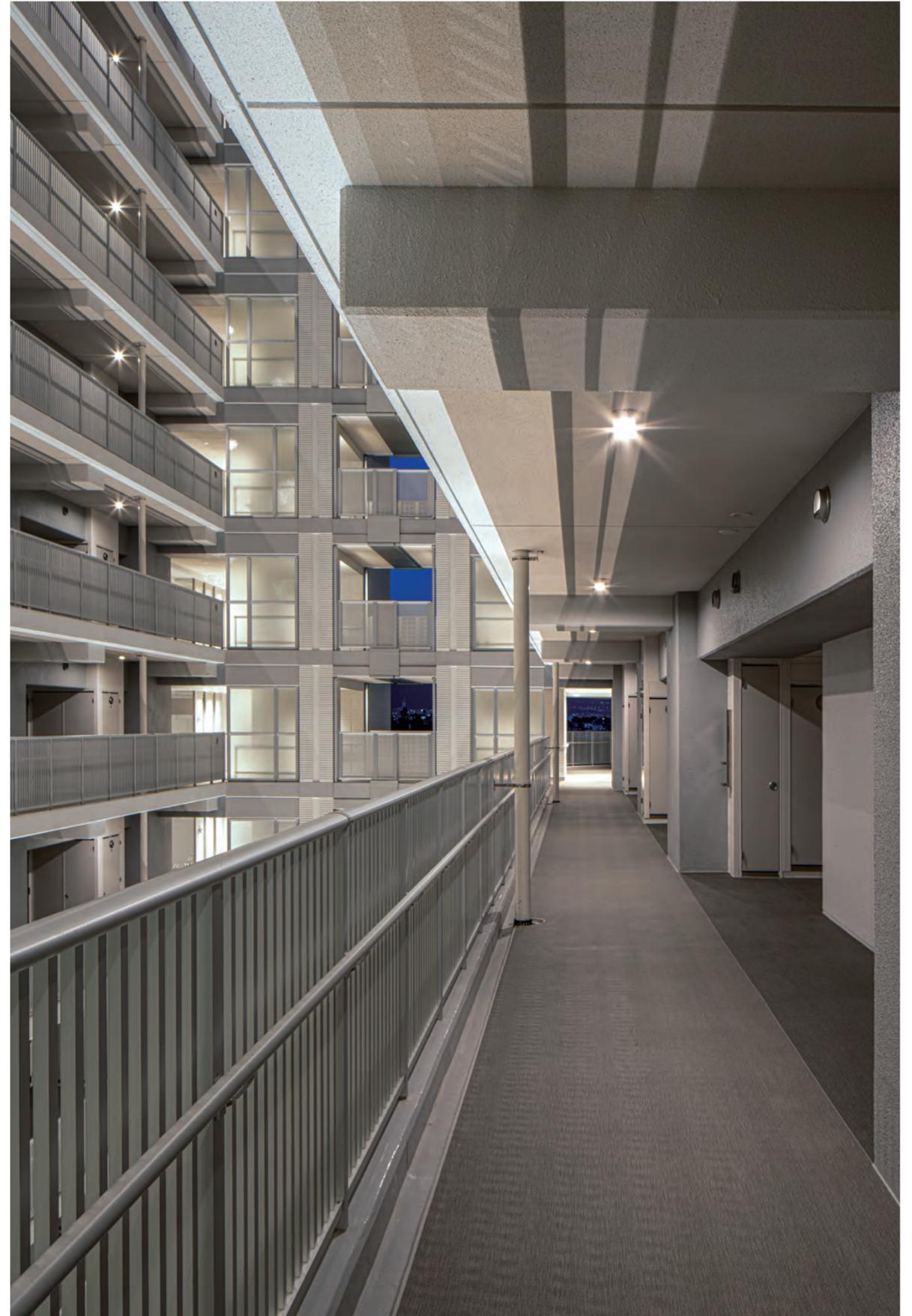
プランは空間を暗示する



エクステリアとインテリアが交わり、その上に光と影、雨や風が関わり多様な表情を



住棟配置の特異さと、階数ごとの違いも加え、四周の街や山並みが多様な姿で切り取られ、空中都市の魅力を増幅する





住戸計画

1/263のただひとつの箱が
一人ひとりの想いによって個性を帯びた空間に変わり、
やがて、自分だけの詩で満たされていく。

ダイニング・キッチン



リビング・ダイニング・キッチン



2住戸を一体計画し住戸の魅力を最大に

1住戸間口3,600mmながら和室とDKの間口を2,710mmを確保し、玄関にも窓を設け明るく開放的な住戸をつくる。

和室



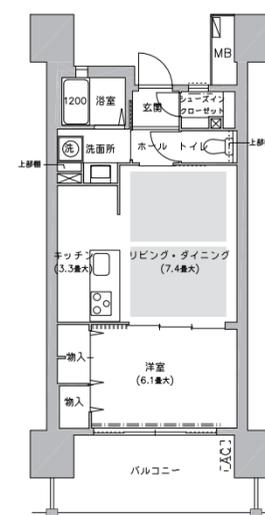
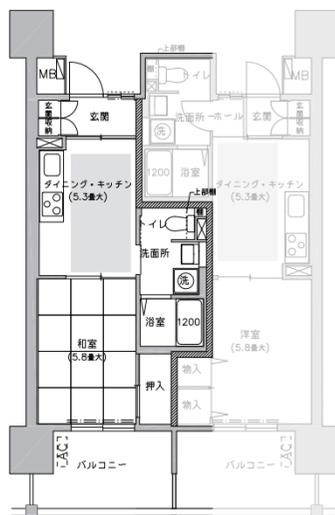
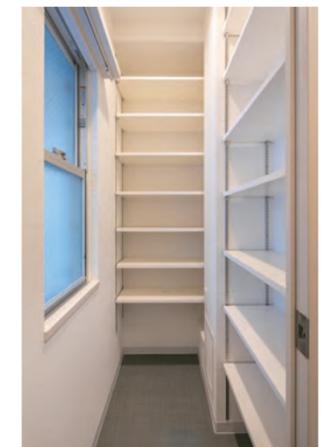
自然の魅力をいかしたプランの形

洋室とLDKを一体化し、浴室、シューズインクローゼットにも窓を設け、自然との応答性の高い住戸をつくる。

アイランド型のキッチン



シューズインクローゼット



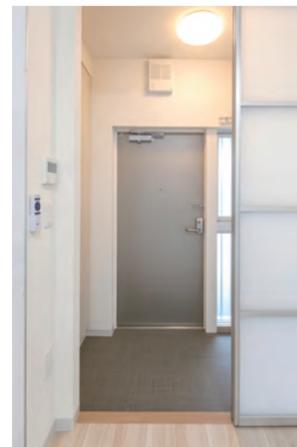
1DK / 31.12㎡

A3和タイプ UB1216
洗面器 W=500
キッチンL=1,800

床材は木製建具と調和する色から選ぶ



玄関



洗面所



1LDK / 42.81㎡

B3タイプ UB1216
洗面器 W=500
キッチンL=1,800

床材は木製建具と調和する色から選ぶ



洋室



リビング・ダイニング・キッチン



リビング・ダイニング・キッチン



アイランドキッチンが生活の中心に

公室と個室が明快に分離され、個室は2室とも6畳超えのゆとりの寝室をウォークインクローゼットでつなぎ、2ウェイの洗面所とアイランドキッチンのある広々としたLDK。

キッチン

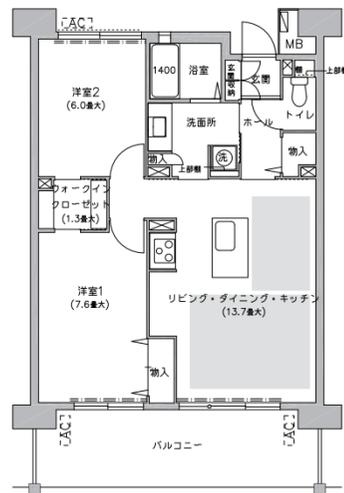


空間がすべてつながる一室的住居

明るい玄関と天板一体型カウンタータイプの対面キッチン。洋室(1)(2)の間には、どちらからも使えるウォークインクローゼット。洋室(1)の建具を開放すればリビングと一体利用ができる。

玄関

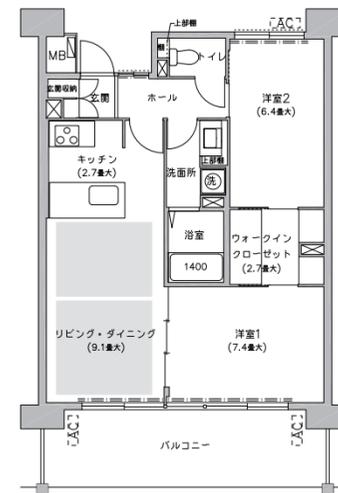
ウォークインクローゼット



ウォークインクローゼット



洗面所



バルコニー



2LDK / 66.52㎡

Hタイプ UB1418
洗面カウンター+洗面ボウル
キッチンL=1,500+900

床材は木製建具と調和する色から選ぶ

床材/アッシュ



2LDK / 64.92㎡

Iタイプ UB1418
洗面カウンター+洗面ボウル
キッチンL=1,900+1,150

床材は木製建具と調和する色から選ぶ

床材/ナチュラル

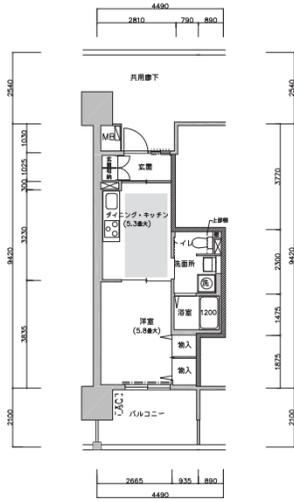


住戸プラン

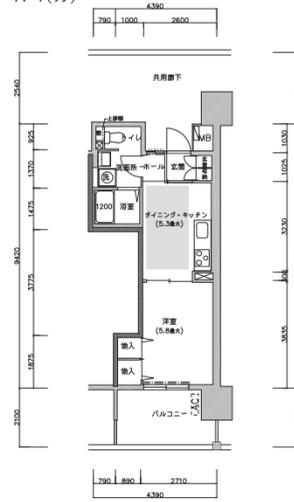
提示プラン

1DK

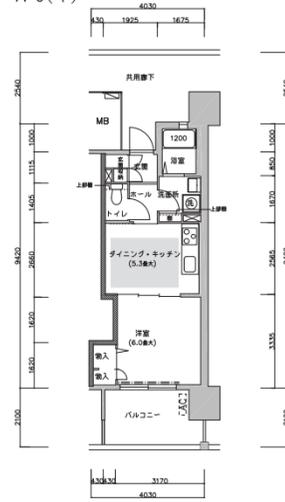
A-3(オ)



A-4(カ)



A-6(キ)



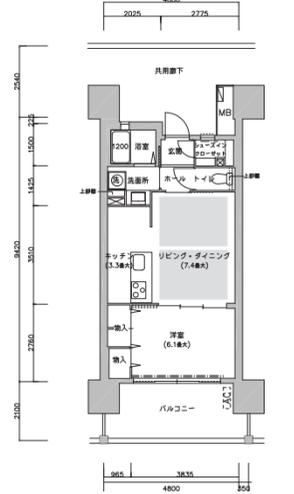
2DK

B-1(ト)



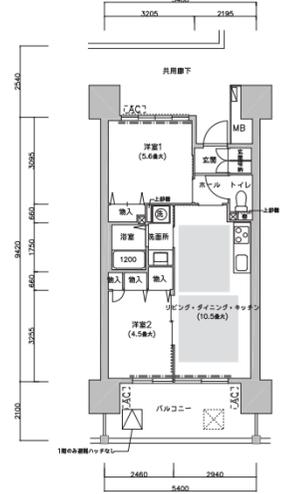
1LDK

B-3(ケ)



2LDK

C-1(ナ)



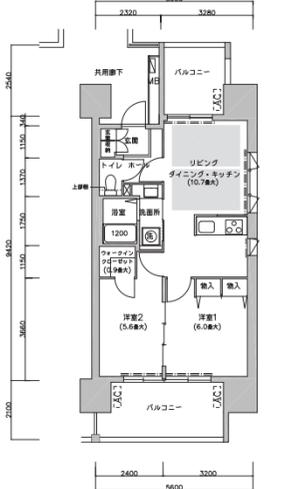
1LDK

C-3(サ)



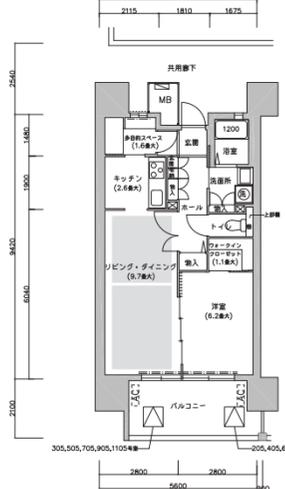
2LDK

D-2(ハ)



1LDK

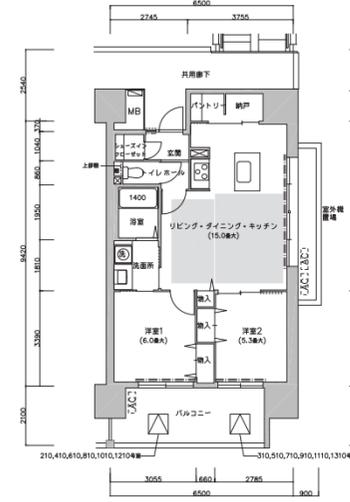
D-3(シ)



新規プラン

2LDK

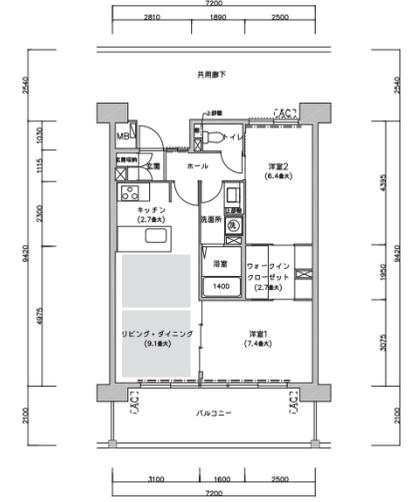
E-1(ヒ)



F-1(フ)



I-1h(ヘ)

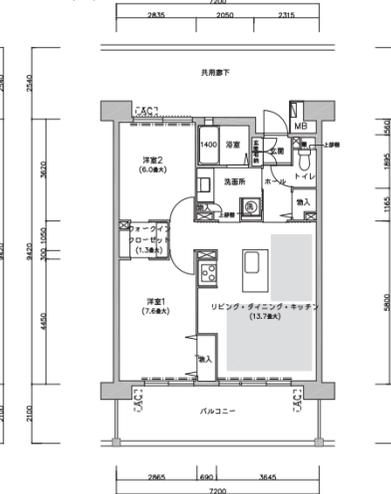


2LDK

J-1和h(ホ)

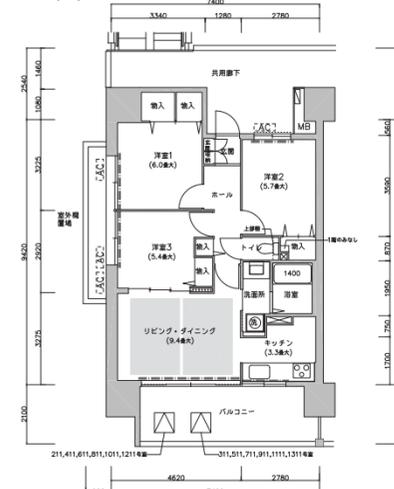


H-1h(マ)



3LDK

G-1(ロ)



計画概要

全体設計基本コンセプト

住棟と競い合うようにおおらかに育った緑が空の高さを感じさせ、起伏に富み、移り変わる季節を楽しめる街路には、団地内外の人が集う。地域のランドマークである高層スターハウスを代表とした個性豊かな住棟群は、空間に彩りを与える。人・緑・街が育ってきた千里竹見台団地には、大事にしたいものがたくさんある。育った緑と共存し、長く親しまれてきた景観を継承するため、建物の位置と形をほとんど変えない置換え設計の手法で新棟に建替えし、団地全体がより豊かになることをめざす。

※コンセプトは基本設計時のものである

サステナブルな竹見台再生のコンセプト

Keywords ▶ 置換え設計・新旧混在・ランドマーク・個性的な・緑に囲まれた・共存・継承

- ① よいものはそのまま ② 古くなったものに手を加える ③ 古くなったものをとり代える ④ 足りないものを新しく足す

付近見取図



配置図



団地全体配置図



計画のポイント

- ① 部分を磨いて全体を輝かせる**
住棟だけを見直すのではなく、サインや照明・ランドスケープ・色彩計画等、団地全域を見据えたトータルデザインを行い、団地全体を再生する。
- ② 既存の建物や屋外環境への影響を少なくする**
置換え設計による将来にわたりクオリティ・オブ・リビングを創造し続ける仕組みを導入する
団地内に点在する建替対象住棟は、団地の骨格をなす住棟でもあり、建物位置はあえて変えない置換え設計とし、樹木や景観を守る。
- ③ 地域のランドマークを現代版に更新する**
ランドマーク的存在のスターハウス、ダイナミックな囲み空間を構成する高層板状住棟それぞれの住棟イメージを継承しつつ、現代のニーズにあった居住環境をもつ新しい時代の住棟設計を行う。
- ④ 新旧がなじみつつ、シンプルかつ個性的な住まいと環境を提供する**
継続住棟と新棟が自然になじむようにデザイン要素や色彩などの共通項を用い、今日の時代にあった素材やデザインの採用等、シンプルでいながら新しさもあるファサードデザインを行う。
- ⑤ コミュニティや緑を受け継ぎ、共に育つ団地をめざす**
50年かけて培われた人と人とのつながり、大きく育った緑を次の時代にもつなげるよう、守り育てる計画をめざす。

事業概要

名称	千里グリーンヒルズ竹見台 201号棟
所在地	大阪府吹田市竹見台2丁目1番201
交通	阪急千里線「南千里」駅下車徒歩9分、阪急千里線「桃山台」駅下車徒歩12分
地域・地区	第1種中高層住居専用地域(200/60)、31m第3種高度地区、25m第3種高度地区 千里ニュータウン地区地区計画区域、宅地造成工事規制区域
建物種別	UR賃貸住宅(197戸、1LDK~3DK)
敷地面積	8,563.51㎡(区域全体:69,916.76㎡)
建築面積	1,666.21㎡(建ぺい率19.46%)
延床面積	11,692.05㎡(容積対象面積10,496.11㎡)(容積率122.57%)
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上10階地下1階建(1棟)
建物最高高	30.733m
駐輪台数	306台(設置率155%)
駐車台数	22台(設置率11%)
附属棟	ポンプ室・ゴミ置場2棟・駐輪場20棟
事業手法	建替型
事業経緯	1967年7月~1971年2月 日本住宅公団 千里竹見台団地(全42棟、2,796戸)入居開始 2017年5月 先工区建替のため解体工事着手 2021年1月 入居開始

全体計画 1. 建物配置計画

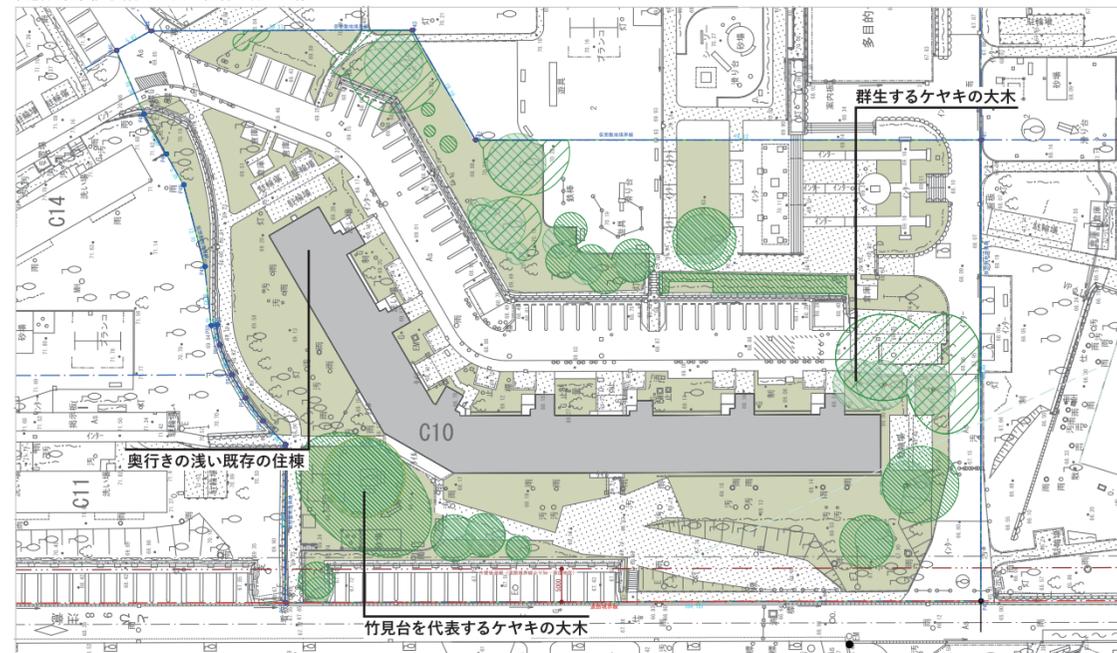
※コンセプトは基本設計時のものである

配置計画コンセプト

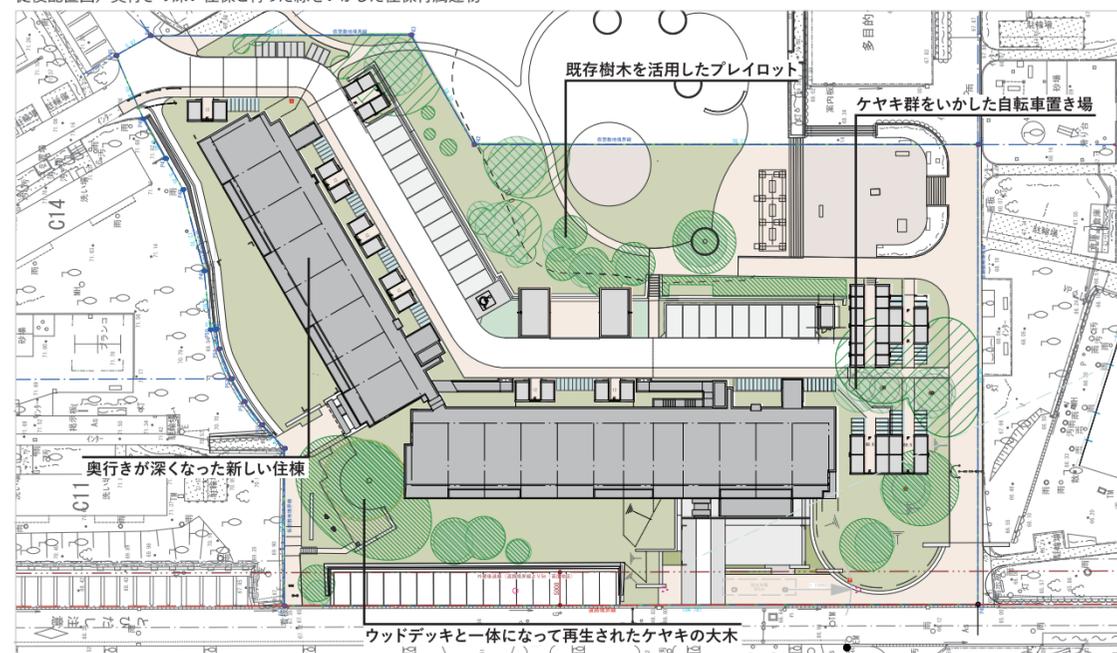
201号棟の計画が北側既存住棟に対し、日照、日影、眺望等、従前の影響と変わらない計画となるよう「置換え設計」の手法を用い計画を進める

- | | | |
|---|---|--|
| <p>(1) 自然の要素</p> <ul style="list-style-type: none"> 敷地造成の変更を行わない。 育った緑をいかした配置計画をめざす。 | <p>(2) 生活の要素</p> <ul style="list-style-type: none"> 従前居住者になじみがあった空間構成で生活の連続を図る。 住棟全体を今日の時代の生活が営める空間に置き換える。 | <p>(3) 空間の要素</p> <ul style="list-style-type: none"> 住棟は既存の位置に配置する。 駐車場は敷地北側に、駐輪場は住棟東側に配置する。 |
|---|---|--|

従前配置図／奥行きが浅い住棟と育った緑



従後配置図／奥行きが深い住棟と育った緑をいかした住棟付属建物



全体計画 2. 屋外計画

※コンセプトは基本設計時のものである

暮らしを彩り包み込む、緑の継承と想像

—貴重な資産である既存樹木およびその樹冠空間をいかした新たな魅力の創出—

① 地域との接点部の緑の保全と育成(彩りの導入)

周辺環境と一体となり、地域固有の景観、記憶を継承する団地景観の創出を図る。

② 骨格を形成する軸線上の緑の充実

団地内のメインの動線沿いは、歩行者空間の豊かさと潤いある風格のある緑を継承・発展させる。

③ 団地のコミュニティ空間の再魅力化

既存の樹木を保護しながら、憩い・遊びのための空間を緑と一体的な形で紡ぎ、再魅力化を図る。

④ 住棟周辺の身近な彩りの創出

住棟周辺に花木・草花など五感で楽しめる「彩り」を付加し、身近で親しみやすい緑を創出する。

既存住棟のコーナーで育った緑をウッドデッキの主役に



集会室とデッキテラスの一体使用も考えた設え



全体計画 3. 照明計画

※コンセプトは基本設計時のものである

多様な表情をもつ「竹見台」ならではの夜間景観
—竹見台らしさの追求—

- 千里の象徴としての竹見台の顔をつくる。
- 多様な建築の集積ならではのエリア性の強調。
- 時を経た樹木の魅力を最大化。

落ち着いた上質なあかりで、明るさと住まう喜び・楽しさを創出
—愛され続けるプレイスとして—

- いつもの道の安心安全の確保。
- 上質な千里の丘の住宅らしいたずまい。
- 多彩な活動を誘うあかり。

闇の中で光が遊具を詩的な空間に変えている



昼の外からの光は建物の奥行きを消し、夜の内からの光は彫りの深い表情に変える



光る遊具とその影が、この遊具の魅力を表している



建築空間を適切に読み、その空間に光空間を重ね現れた第3の空間がここにある



全体計画 4. 色彩計画

※コンセプトは基本設計時のものである

色彩計画コンセプト

(1) 外部空間計画コンセプト

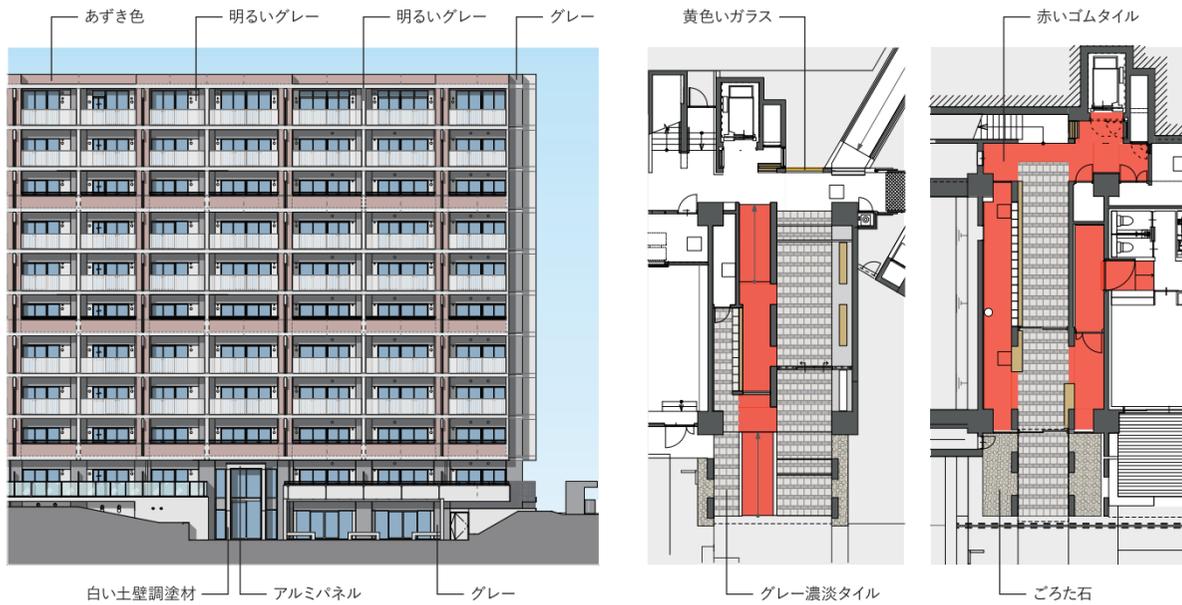
- 竹見台団地の周辺住棟との調和をめざす。
- 北街区既存板状住棟の色彩構成に準じる。

(2) 共用空間計画コンセプト

- 床、壁、天井、通気管等、各々の場所や機能の特性を表現する。
- 空間に活力が生まれる計画をめざす。

(3) 住戸空間の計画コンセプト

- 時代の精神を表す。
- 建築は主張を抑え、生活者の個性が表れる空間をつくる。



201号棟と既存住棟の色彩



全体計画 5. サイン計画

※コンセプトは基本設計時のものである



SENRI GREEN HILLS
TAKEMIDAI
千里グリーンヒルズ
竹見台

201



1234567890

ABCDEFGHIJKLM
NOPQRSTUVWXYZ

abcdefghijklmnop
nopqrstuvwxyz

デザインアプローチ

公団時代からの歴史や価値を継承させるため、千里NTのUR団地において共通で使われている住棟番号の「C」を意識したデザインを検討し、建替後の各団地で統一したロゴデザインとして展開する。

デザイン案

- 既存住棟番号の「C」の形をイメージしたシンプルなフレームデザインを各団地共通で採用。
- フレーム内は、各団地でオリジナルロゴ（マーク、書体等）を検討し、団地ごとの個性を表現。

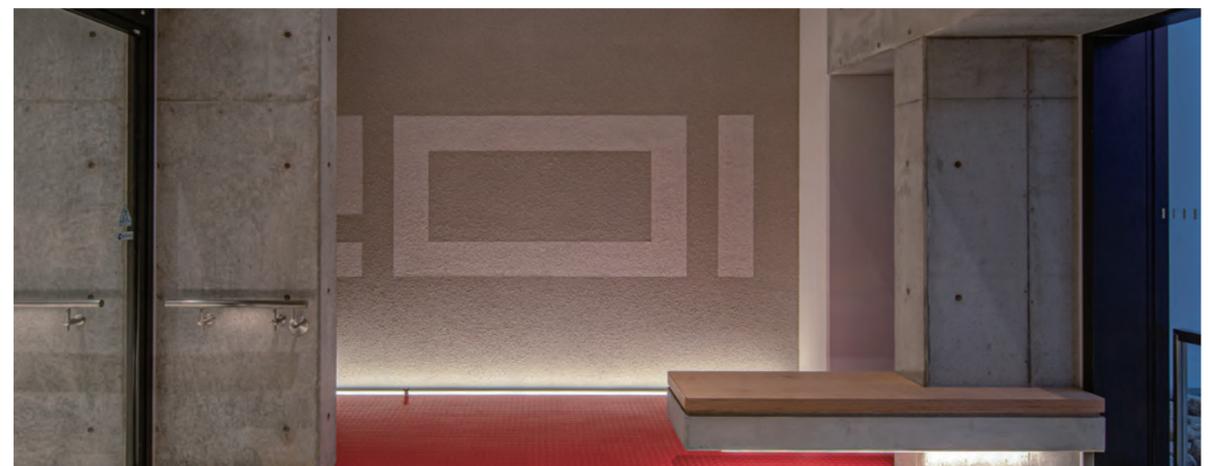
使用フォント（特記なき場合）

団地名：指定フォント

棟番号、英文：Alte DIN 1451 Mittelschrift gepreagt Regular

和文：ヒラギノ角ゴシックW3/W5/W6

棟番号がエントランスの個性をつくっている



住棟計画 1. 住棟空間計画

※コンセプトは基本設計時のものである

住棟計画コンセプト

(1) 平面計画

- 住棟は既存住棟と同様に「くの字」型の平面で構成する。
- エントランスはメインを住棟東南に、サブは住棟中央に配置する。
- 駐車場は住棟北に、駐輪場は住棟東に配置する。

(2) 立面計画

- 北街区既存住棟のスーパーストラクチャー的構成の空間に準じ、新旧の住棟の連続一体化を図る。
- メインエントランスはゲートの表現で住棟全体のスケール感に合った強い表現を行っている。
- エントランスの東に集会所を設け、エントランスと一体になってこの建築の核的空間をつくっている。

北街区の既存板状住棟は晴海時代を思わせる昭和の秀作



昭和の建築の思いを令和の形に変えて



置換え設計による住棟空間構成



誠実につくられた昭和建築のデザイン密度の高さを受け継いでいる

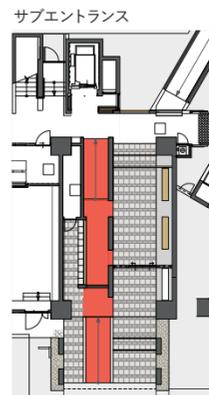


住棟計画 2. エントランス

※コンセプトは基本設計時のものである

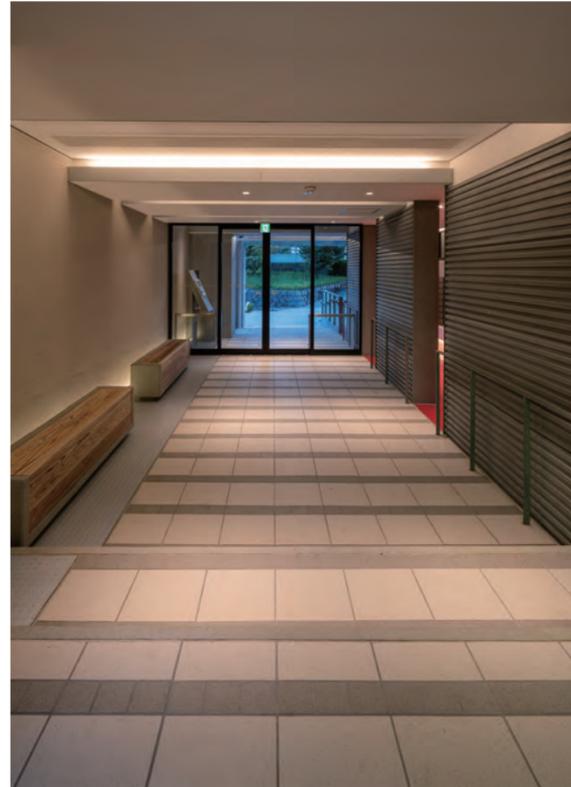
エントランス計画のコンセプト

(1) メインエントランスは2層吹抜けのダイナミックな空間構成を行い、ポストコーナー、メイン通路、集会所エントランスの3ルートをかしたこの住棟のエントランスにふさわしい空間をつくる。

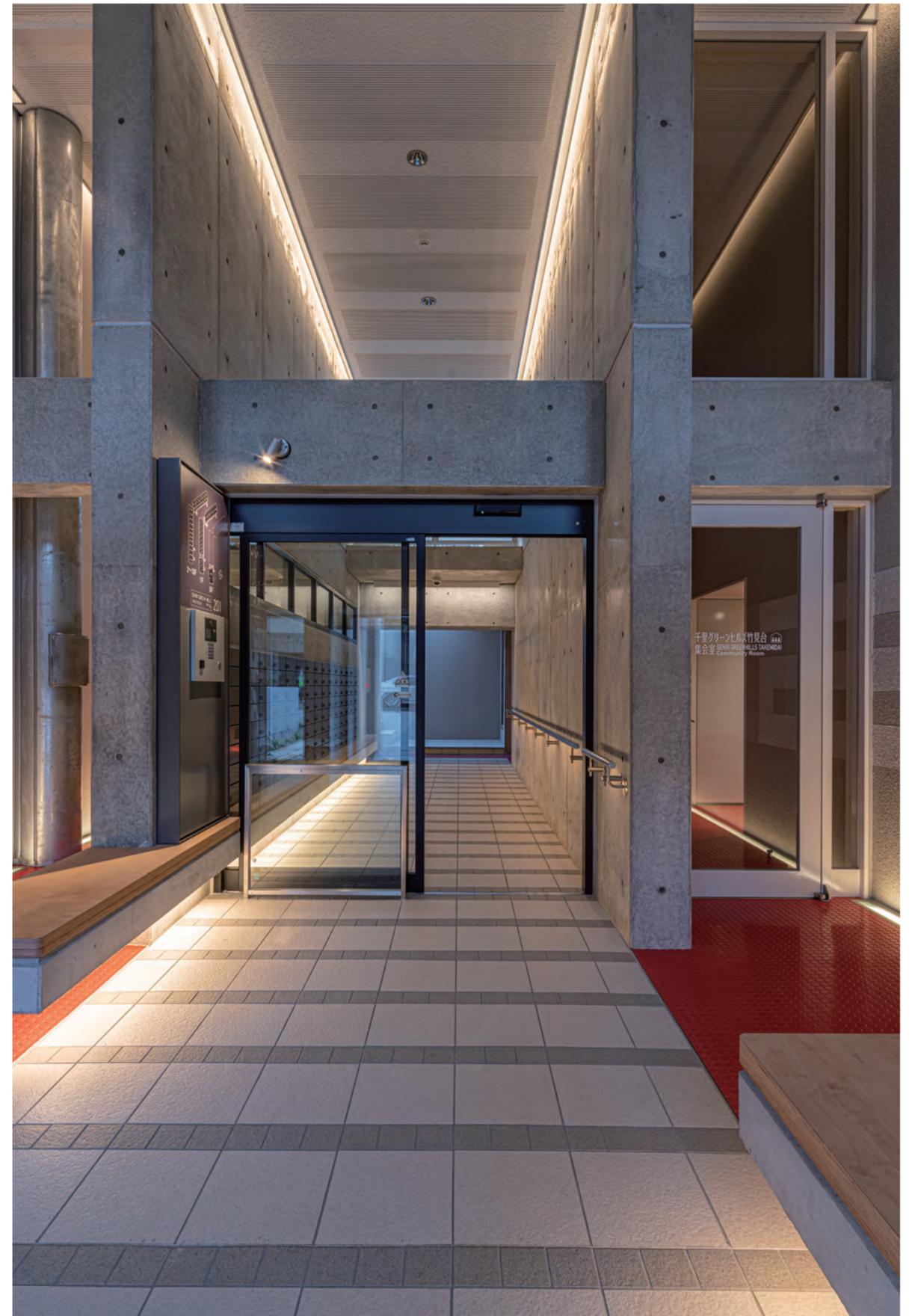


(2) サブエントランスは1層空間とし、静かで穏やかな空間をつくる。

標準的な階高のサブエントランス



201号棟サインがエントランスポーチを異化している



住棟計画 3. 集会所・付属棟

※コンセプトは基本設計時のものである

集会所計画コンセプト

地域に開かれた集会所をめざす

- 部屋は2室に分節し、多様な使い方が可能な計画にする。
- 奥の1室はアイランドキッチンと一体に計画している。
- 集会所前にはデッキテラスを設け、食事会やパーティ等多様なイベントで活用できる空間にする。
- 集会所前広場は軽トラ朝市等の活用を考えている。



集会所のエントランスホール



付属棟計画コンセプト

付属棟は景観形成上重要な役割を担う

- 給水ポンプ室はRC造とし、住棟の色彩計画に準じる。
- ごみ置場は駐車場内に配置し、同じ形態の2棟の建物がデザイン的な意味を強める計画にする。
- 自転車置場は妻壁をシンプルなRC造の構造とし、育った緑と一体になって魅力に満ちた空間をつくる。

アイランドキッチンがこの空間の主役



建替と同時に新設された健康遊具



ごみ置場を駐車場と一体計画



給水ポンプ室



自転車置場



リビング・ダイニング・キッチン



リビング・ダイニング・キッチン



明快なプランで生活もシンプル

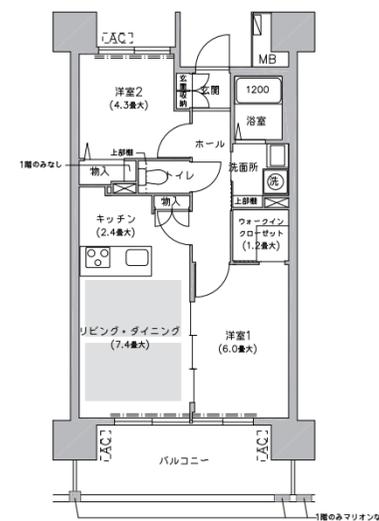
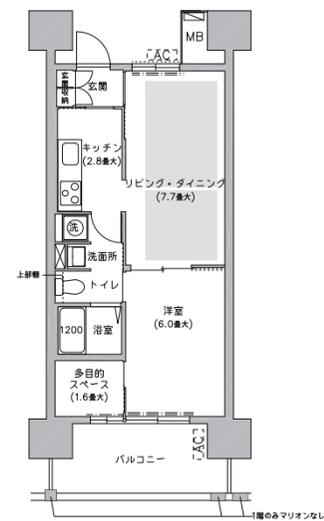
水廻りを片側に集めたすっきり暮らせる間取りで、玄関から直接入れる独立キッチン。洋室には収納や書斎等に使える明るい多目的スペースを設け、LDと洋室を一体にすれば南北に風がぬける。

リビング・ダイニング・キッチン



風景を楽しみながら料理をつくる

オーソドックスな2LDKプランと人気の対面キッチン。洗面所とトイレは廊下から入るタイプ。洋室(1)はLDKと一体利用ができるスライドドア。



玄関



トイレ



トイレ、洗面所



キッチン



バルコニー



1LDK / 40.32^m²

A-2タイプ UB1216
洗面器W=500
キッチンL=1,800

床材は木製建具と調和する色から選ぶ

床材/アッシュ



2LDK / 50.35^m²

B-5タイプ UB1216
洗面化粧台W=600
キッチンL=1,800

床材は木製建具と調和する色から選ぶ

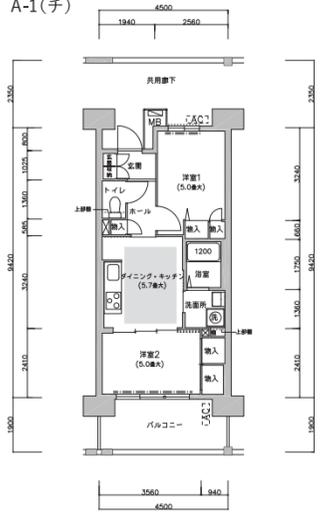
床材/エレガント



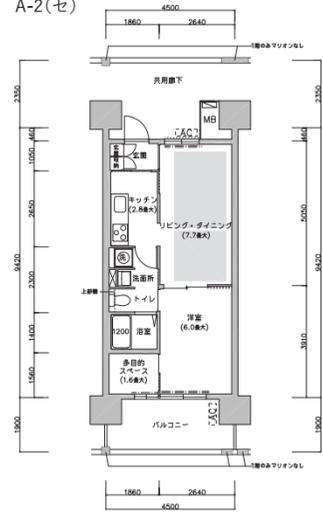
住戸プラン

提示プラン

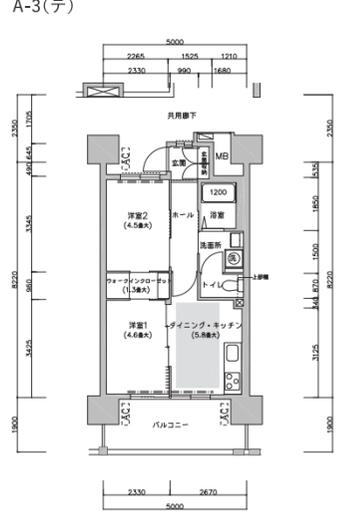
2DK
A-1(チ)



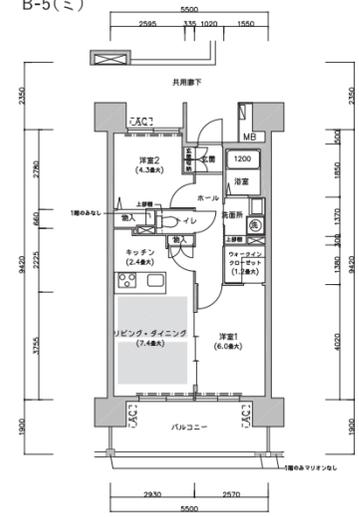
1LDK
A-2(セ)



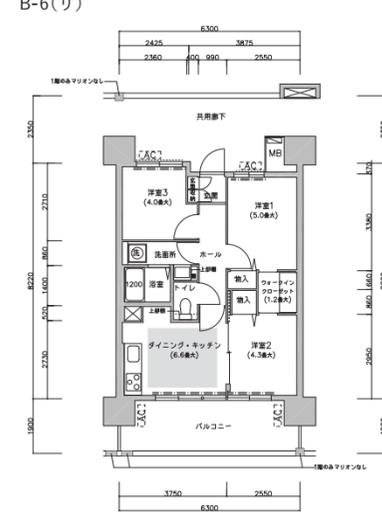
2DK
A-3(テ)



2LDK
B-5(ミ)



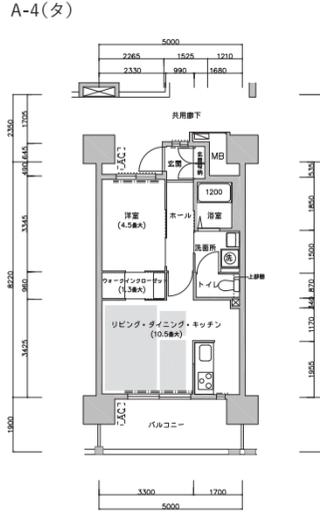
3DK
B-6(リ)



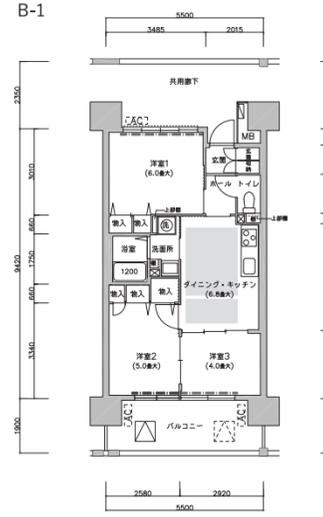
B-7(ル)



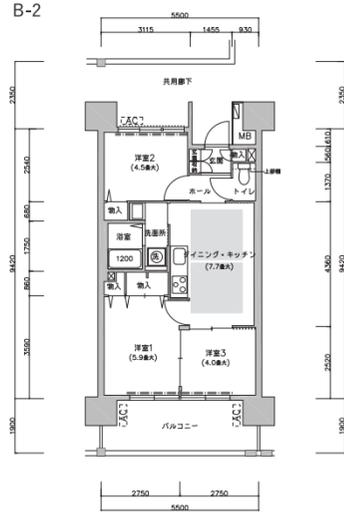
1LDK
A-4(タ)



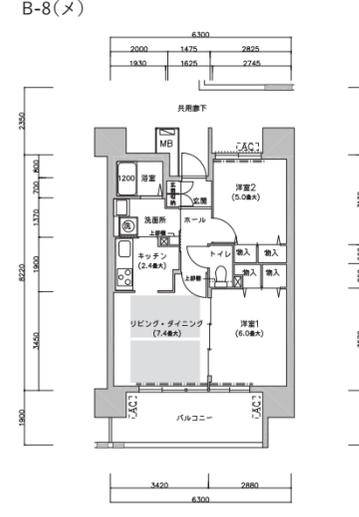
3DK
B-1



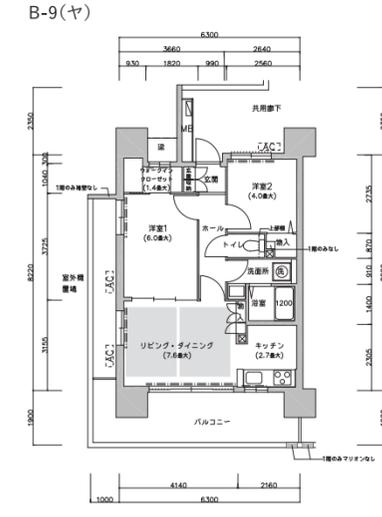
B-2



2LDK
B-8(メ)



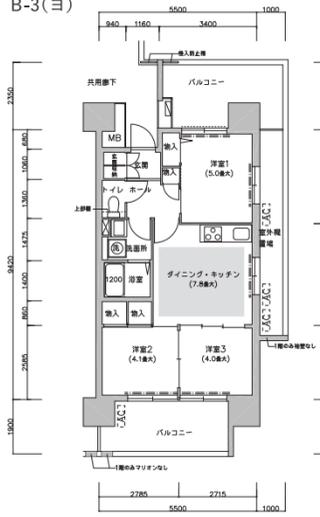
B-9(ヤ)



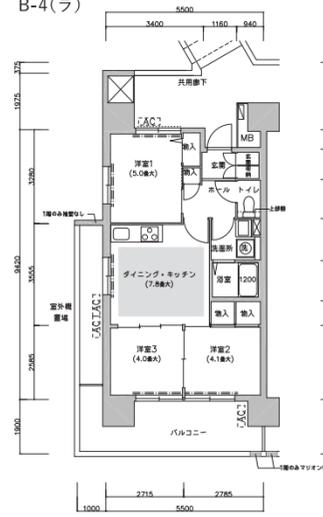
B-10



3DK
B-3(ヨ)



B-4(ラ)



スタッフリスト

監修

UR都市機構西日本支社 技術監理部 企画課

長谷川晋一

高濱遼太郎

天野友貴

※所属は2022年3月時点

編集

株式会社遠藤剛生建築設計事務所

遠藤剛生

足立修司

設計

建築

株式会社遠藤剛生建築設計事務所

照明

株式会社LEM空間工房

造園

株式会社ヘッズ

本書に掲載されている情報について

*写真は一部加工しています。

*図面は設計図を元に作成したもので、現地の仕様とは異なる場合があります。

企画・発行／UR都市機構西日本支社 技術監理部 企画課

発行日／2022年3月

60 事業概要